

社会学 III (2021 年度前期)

担当：麦山 亮太

時限：火曜 2 限

レポート課題

自分が関心のある何らかの社会現象に関する問いを立て、具体的なデータなどの証拠を使いながら、問いに対する答えや主張を提示するレポートを提出してください。扱う社会現象はどのようなものであっても構いませんが、授業で扱ったものとまったく同じ例・まったく同じ考察を用いてはいけません（ダメな例：なぜハリー・ポッターは人気なのか？→マタイ効果だ）。字数は 4000 字以上とし、図表および参考文献の書誌情報は文字数に含めません。必ず、5 点以上の書籍、論文または資料を引用し、参考文献として記載してください。

レポート執筆にあたっては、授業で扱った以下の点をとくに考慮に入れてください。

- 問いが科学的な問い（記述的、説明的、または応用的）であるか？（第 2 回で扱った）
- 精密な問いであるか？（第 2 回で扱った）
- 問いは社会問題と関連するものであるか、または社会学において蓄積されてきた知識と関連するものであるか？（第 2 回で扱った）
- 説明や仮説が理論的に導かれているか？（第 3 回で扱った）
- 議論は説得的であるか？（第 4 回で扱った）
- 社会学的な視点から検討がなされているか？（第 5 回で扱った）

解説など

上記に記載されたポイントを満たしているほど、高い得点となる。とくに注意すべき点として以下が挙げられる。

- 科学的かつ精密な問いを提出できていない場合には評価は低くなる。たとえば、「日本政府の少子化対策はなぜうまくいかないのか？」という問いはあまり高い評価にはならない。なぜなら、少子化対策とは何を指していて、何がどうなればうまくいく（うまくいかない）といえるのかが曖昧だからである。これがたとえば「保育の無償化は出生率を上昇させたか？」という問いであれば（それが実際に検証できるかはさておき）、先ほどの問いよりは相当精密なものとなっており、良い評価となる。

- 「社会問題と関連するものであるか」といった場合、自分の扱う社会現象が重要なものであるということを述べる必要がある。少子化、自殺、教育格差、ネット炎上、いじめ、ポップカルチャー、若者の低投票率、そのほかさまざまな社会現象があるが、どのような社会現象を扱うにしても、なぜそれを扱うに値するのかは常に述べなければならない。とくに、世の中で当たり前に悪いとされているもの（少子化など）ほど、そうした記述が抜ける傾向があった。逆に、一見社会問題とは認識されていないものであっても、その重要性を説得できていれば、そのほうがかえって評価は高くなる。
- 用語や制度を長々と整理しても、評価は上がらない。もちろん、必要十分な説明はしなければならないが、多すぎるとかえって何が中心的な論点なのかがわからなくなってしまう。
- 引用、参考にした箇所には適切な箇所に文献などを引用した旨を示さなければならない。自分の考えと他者の考えを分けることはレポートの基本である。これが適切にできていない場合、本人にそのつもりはなかったとしても、剽窃とみなされて採点の対象外となってしまう可能性がある。